

# 防災のワンポイント

7月～10月にかけては日本に接近・上陸する台風が多くなり、大雨、洪水、暴風、高潮などの自然災害をもたらします。



防災マップ

## ■台風対策のポイント

台風による風や雨で被害を受けないよう、日頃から地域ぐるみで対策しましょう。

- ①飛ばされそうなものは固定しましょう(テレビアンテナやごみ箱、鉢植え等は特に注意しましょう)。
- ②定期的に側溝や排水溝を清掃し、流れ込んだ雨水があふれ出ないようにしましょう。

## ■大雨対策

大雨による災害発生に備え、日頃からできる防災を考えましょう。

- ①防災マップを参考に、地域の危険箇所などを事前に把握しておきましょう。防災マップは、役場、各支所で配布しています。また、ホームページでもご覧いただけます。
- ②大雨や洪水はある程度予測できます。雨が降っているときはテレビやインターネット等を活用し、雨量・水位情報等に注意しましょう。
- ③災害時に素早く行動するためには自らの判断が重要です。町から避難情報が発令されていなくても、自宅にいたことが危険だと判断される場合には、早めに自主避難しましょう。

■問合せ 総務課危機管理係 ☎72-6901

# 家屋を新築などで取得された方へ

主に令和7年中に家屋を新築、増築または改築により取得された方へ、7月8日(水)付けで「不動産取得税納税通知書」を送付します。

金融機関の窓口等、納税通知書に記載の場所で納付してください。

■納期限 7月31日(金)

■問合せ 大田原県税事務所課税課不動産取得税担当 ☎0287-23-4172

## 鳥獣対策のすすめ

No.20

### 夏のクマの行動について

人とクマが共存するために、夏はクマの活動が活発になる季節です。町内でも夏期からクマの目撃情報が増える傾向があります。クマの行動を正しく理解し、事故を未然に防ぎましょう。

#### ▼夏のクマの特徴

- ・木の実や草、昆虫などを求めて広く行動します
- ・水場や涼しい場所(沢・林の中)によく現れます
- ・親子連れ(母グマ+子グマ)が多くなる時期です

特に子グマを連れられた母グマは、非常に警戒心が強く攻撃的でオスグマから逃げている時期でもあり注意が必要です。

#### ▼なぜ人里に近づくの?

①親離れによる行動の変化  
初夏から夏にかけて、若いクマは母グマから離れて単独で行動を始めます。

経験の少ない若いクマは、食べ物を探して行動範囲が広がり、人里に迷い込むことがあります。若いクマは人を恐れにくい傾向があり、思わぬ接近につながる可能性があります。

### ②食べ物を求めての移動

山の状況(天候や実り具合)によっては、十分な食べ物を得られないことがあります。そのため、農作物や果樹、生ゴミなど、人の生活圏にある食べ物に引き寄せられることがあります。

一度人の食べ物を覚えると、同じ場所に繰り返し戻り出没する可能性があります。

#### ▼クマに出会ってしまったら

- ①慌てて走らない(追いかける可能性がありません)
- ②大声を出さず、落ち着いてゆっくり後退する
- ③子グマを見かけたらその場を離れる(近くに母グマがいます)

クマ対策は個人だけでなく、地域全体で取り組むことが重要です。1人ひとりの行動が、クマとの不要な接触を防ぎ、安全な暮らしにつながります。

▼問合せ 農林振興課畜産係 ☎72・6911



クマの足あと